感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係
電話 03-5608-6191(直通)　FAX 03-5608-6507

令和8年
11月号

ひと、つながる。墨田区

東京都内の感染症流行情報

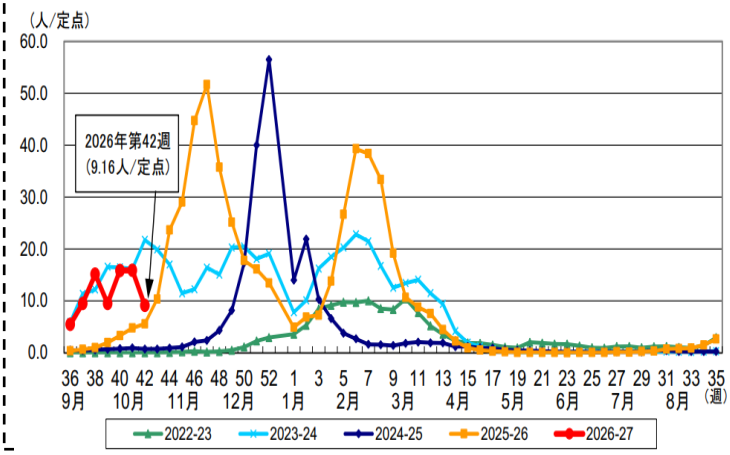
出典：東京都感染症情報センター「東京都インフルエンザ情報」

◆第42週（10月12日～10月18日）の流行情報

東京都内のインフルエンザ流行注意報発出中です!!

・ 都内の点医療機関 からのインフルエンザ患 者 報 告 数 は3,839 人 、 定 点 当 たり 9.16 人でした。
・ 都内のインフルエンザ様 疾 患 による集団発生事例 の報告数は 160 件でした。
・ 墨田区 における定 点 医 療 機 関 からの患 者 報 告 数 は 60人 、定点当 たり 7.50人（前週12.75人）

東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移



◆インフルエンザ予防のポイント

●**こまめな手洗い**、**十分な栄養と休養**に努めましょう。

●室内は**換気**を行い、**十分な湿度**(概寝50～60)を保ちましょう。

●**咳エチケット**（咳・くしゃみがある時はマスクをする、口や鼻をティッシュでおおう、周りの人から顔をそらす）



●重症化予防には、**ワクチン接種**が有効です。医療機関と相談しましょう。

11月になりました感染性胃腸炎に注意しましょう！

出典：東京都感染症情報センター

◆感染性胃腸炎ってどんな病気なの？

●ウイルスや細菌などの病原体による胃腸炎の総称です。
●原因となるウイルスには**「ノロウイルス」「アデノウイルス」「ロタウイルス」**などがあります。
●**手指や食品などを介して口に入り**、ヒトの腸管で増殖し、**おう吐、下痢、腹痛**などを起こします。
●健康な人の多くは軽症で回復しますが、子どもや高齢者等では重症化することもあります。
●例年、11月から増加しはじめ、12月頃をピークとして3月まで多発します。

◆どうやってうつるの？

●ヒトからヒトへの感染
感染者の吐物や便の不適切な処理や、処理後の不十分な手洗いにより、手や環境中に残ったウイルスが体内に取り込まれた場合

●汚染された食品や水からの感染
・ 感染した人が十分に手を洗わず調理し食品が病原体で汚染され、それを食べた場合
・ 汚染された二枚貝を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合

◆予防する方法は？

●流水と石けんによる手洗い
特に排便後や調理、食事の前には、手を洗いましょう。**※アルコール消毒は効果が乏しい**



正しい手洗い方法はこちらから

●消毒
次亜塩素酸ナトリウムを使用します。
0.02%・・環境消毒に使用
0.1% ・・おう吐物・ふん便が付着した場合の処理に使用



●二枚貝は十分に加熱
カキなどの二枚貝は十分に加熱しましょう。
二枚貝の調理に使った器具は、洗浄後熱湯消毒をしましょう。
（中心温度８５℃～９０℃で９０秒以上の加熱）



11月は子宮頸がん予防啓発月間です

出典：東京都　はじめてのHPVワクチン
ゼロからわかるポータルサイト

◆子宮頸がんはどんな病気なの？

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんで、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。
日本では**毎年、約1万人の女性がかかる病気**で、毎年、約3,000人の女性が亡くなっています。20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、1年間に約1,000人います。
子宮頸がんの原因は、長らく明らかになっていませんでしたが、1982年に子宮頸がんのほとんどが**HPV（ヒトパピローマウイルス）**というウイルスの感染で生じることが発見されました。


子宮頸部（けいぶ）

◆HPV（ヒトパピローマウイルス）って何？

HPVには200種類以上のタイプ（遺伝子型）があり、子宮頸がんの原因となるタイプが少なくとも15種類あることがわかっています。また、HPVは、肛門がん、膣がんなどのがんや尖圭コンジローマ等多くの病気の発生に関わっており、感染を防ぐためには**ワクチン（HPVワクチン）接種が有効**です。

◆HPVワクチンの対象は？

対象	予防接種の種類
小学校6年生から高校1年生相当年齢の女性	定期接種※ (区発行の予診票が必要です)
小学校6年生から高校1年生相当年齢の男性	任意接種の助成※ (区発行の予診票が必要です)

※ 高校1年生相当年齢の方については、接種期限が年度末となります。

HPVワクチン
詳細はこちらから



11月はAMR(薬剤耐性菌)対策推進月間です

出典：東京都感染症情報センター

◆AMR（薬剤耐性菌）って何？

薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）とは、感染症の原因となる細菌が一つ以上の抗菌薬に対して感受性がない、つまりその**抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなる**ことを意味します。
細菌に感染した場合、感染した細菌の一部は既に抗菌薬に耐性を持っていることがあります。また、同じ種類の抗菌薬の反復投与や長期投与により、細菌が徐々に耐性を持つようになります。

◆薬剤耐性はどうしていけないの？

抗菌薬を必要以上に服用すると、多くの種類の抗菌薬に感受性(薬に対してどれだけ反応しやすく、聞きやすいか）のない細菌が発生します。
最悪の場合は、深刻な病気に繋がる細菌感染症を治療出来なくなります。

抗菌薬と薬剤耐性菌
Q&Aはこちらから

◆抗菌薬服用の注意点は？

薬剤耐性菌を増やさないために、できることがあります。

- **受診し処方された場合に飲む**
- **服薬の中止は医師に相談**



- **医師の指示した時間と量を守る**



- **残っている抗菌薬を自己判断で飲まない**



抗菌薬は、医師から指示された飲み方を守って飲むことが大切です！